な市

民生活のため

の防災対策

の

市の

反はないか。

ンを守っていなかった。

害者手帳」の確認など、問題になっている。中央 障害者の雇用

一洋議員

山﨑

中央省庁は「障 平戸市では違 ガイドライ

大きな

向し

「障害者手帳」を確認している。

態を是正するには、何人の雇用が必を雇用しているのか。また、違法状最低クラスだ。現在、何人の障害者 要か。 つている。長崎県内の自治体の中で、法律で定められた2.%を大きく下回法律で定められた4.5%を大きく下回

なる。 してもよいので、11人ということに度障害者。重度障害者は2倍に計算 雇用が必要。 障害者は8人在籍。 違法状態にある現状をどう是 25%を達成するには、 うち3人が重 5人の

正するつもりか。

平成30年9月定例会、7人の議員が一般質問に立つ(文責は、いずれも本人)

業務についても、 周知の方法、 知的障害者および精神障害者のいていく。身体障害者のみなら

世界遺産登録後の観光客の ハウス建設の必要性につ 併せて検討して い動 風 🚨

施設によって違ってはいるが微増

も含め、 設の必要性があると考えている。 利便性と施設のバ スについては、 といったところである。 2億5千万円の税金を使うレス 情報の発信拠点としても建 検討委員会の答申、 リアフリー レスト 化など ウ

止めて、 に見直す。場合によっては建て替え 市民の声に基づいて、 この9月市議会に、 を中止すべきだ。 を聞く機会を設けるべきだ。そして 正予算案が提出された。事業を一旦 トハウス建て替えが、 Q 市民説明会など、 4千万円超の補 本格的に始まる 計画を抜本的 市民の声

民の意見が反映されている。 もに十分意見交換をしてきた。 整備活用検討委員会には十分に市 議員と

要件等について再度



稔巳議員

るので、

全域に達するのに約8分か 5分単位でずらして放送す

室内受信機の設置状況

防災メ

ルが

戸市では、 被害が出ている。

ており、 きている。今後も国や県、 平戸市では地域防災計画を策定し 民間事業者、 平戸市の土地条件、

災害からの避難や警戒の周知の手段所の被害があったとの報告であるが 地や公共土木災害等で合計292カ と対応の充実はなされているのか。

されており、 一度に鳴らすと共鳴す

る。原発 故発生時、 かなく、 えている。 Q 病院や福祉施設等からの

かる。

た対策は考えているのか。れてはならない。平戸の地域に応じ 事故やミサイル攻撃による災害も忘 等により

池田

ごとに経験を踏まえた充実を図って 急対策について詳細に記載し、 件等を踏まえ災害予防計画や災害応 ていきたいと考えている。 で安心・安全なまちづくりを実現 自助・共助・公助の三つの柱 自主防災組織と連 専門機 社会条 年度

Q 7月初旬の西日本豪雨では、 農

防災無線は市内に215カ所設置

も8%ほどであり、 入促進に努力を重ねていきたいと考 登録数は2,730件で約1 番効率的だと考えているが、 離島を抱える平 今後はSNS等も含めて加 市では原発事 制程度し

平戸市議会だより

2018.11.1発行

備が必要と考える。 ざというときのための施設の補助整 避難行動は大変困難であるため、 また、

ているのか 安定ヨウ素剤の整備はでき

5千錠、 千錠、 千錠、 き渡るよう確保している。 助小校区と中の原地区は市役所に5 が煩雑で財政措置が現状では難 る病院や福祉施設では事務手続き等 たものの、 。安定ヨウ素剤の備蓄状況は、 大島と度島で学校施設の整備は ー剤も含めて、 3歳児未満の乳幼児のためのゼ 大島地区は大島診療所に3千 田平地区は県北保健所に1万 度島地区は度島診療所に2 医師会等からも要望の 住民に満遍なく行 \blacksquare あ

市民と共につくる公立

市政を問



院・生月病院の役割は。 少子高齢社会に向けた平戸 市民と共につくる公立病院を目指し、 命にかかわる最重要課題として、 市民病

とが公立病院の役割である。 る提供が困難な医療等を提供するこ 採算性等の面から民間医療機関によ 急患者に対応する二次医療を担う。 両病院は救急告示病院で24時間救

医療費は安い傾向にある。 自治体病院が設置された地域の保険 命題を実現するための役割を持ち で安く医療を提供するかという二つの 公立病院は、市民にいかに平等

不採算部門を担う重要な役割を伝え る啓発活動が必要では。 市民に信頼される医療機関として、

生月病院は な経営が継続できている。 不採算地区である平戸市民病院・ 国の財政措置で安定的

平成30年9月定例会

区内から病院経営や医師確保の状況生月病院を存続させる会、中部地 の説明会が求められ、 積極的な啓発

今後、

活動に努めている。

医師の高齢化および医師不足は、

(期限半年間)を確保できた。 本年6月に総合診療科医師1 名

ることを要望した。 をすること。③来年度、 公立病院も離島並みの医師確保支援 関に両病院を加えること。②へき地 貸与条例の勤務を義務付ける医療機 事要望の際には、①県医学修学資金 の募集を行なっている。7月の県知 センターへの依頼や医師派遣会社へ また、長崎大学医学部・長崎医療 医師派遣す

をどう展開していくか。 Q 患者(家族等)を中心に据えた ム医療・地域包括ケアシステム

A

整備し、 う、医療や福祉、 が地域で安心し暮らし続けられるよ な地域包括ケアシステムを築く。 超高齢社会への対応として、 住まいや日常生活の一体的 介護の予防体制を

て平戸に嫁いでもらう大切な条件だ。 委員会の活動など高く評価できる。 り添った院内ポストやサービス向上 テムを構築した。 ンケアを設置し、 従来、平戸市民病院では、 老人の孤独死がなく 両病院で患者に寄 先進的にケアシス 安心· +

未振興については病院について 宏三議員 と新たな災害対策について

域とのリスク情報を共有している。

地元管理者とも情報を共有し

箇所ではハザー

ドマップを作り、

地

る。下流域に主要道路や住宅がある

ことに対しての考え方は。 病院の経営状況患者動向 一つの市に二つの市民病院がある

え、 🔾

井元

災害予防に努めている。

医療機関の必要性は高まっている。 齢構成が増加傾向にあり、 も市民に対して重要なことであるた る。また平戸市に二つの市民病院が 維持しなければいけないと考えてい 今後17年~15年ほどは現場の体制を な拠点施設で、これを維持すること 分野にサービスを提供している重要 い「保健」 ある意味は、各地域の救急医療を担 両病院とも運営状況はおおむね良 現状で合併の考えはない 医療を必要とする65歳以上の年 市内の人口減少は続いている 「医療」 「福祉」全ての これから

▲ 文化観光商工部長

□ 近年、 っているが平 ため池崩壊の災害が起こ 戸市の状況は

公募してはどうか

Q

・ 紫 瀬 を守うように予定してい対策が必要とされた箇所は一力所 農材 才 医音引

きたいと思う

良い考えだと思うので検討してい

般

問

 \emptyset

客の悪さが指摘されているが、何か対 平戸市内の商業施設に対して接 策はとっているのか。

ても長続きしない状況。 員の意識が低く、指導改善を行な 舗も見受けられるが、 を行なっているが、 おもてなしや接遇向上の取り組み 一部改善した店 事業主や従業 つ

世界遺産登録後の観光客の動向 とレストハウス建設の必要性を問う。

も含め、 設の必要性があると考えている。 利便性と施設のバリアフリ スについては、 といったところである。 施設によって違ってはいるが微増 「レストハウス」の別の名称を一般 情報の発信拠点としても建 検討委員会の答申、 レストハウ 化など

平戸市議会だより

2018.11.1発行